さいたま市議団ニュース

日本共産党
No.937
2021.10.24-31

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811　FAX 048-833-8165
http://www.jcp-saitama.jp/

発行
神田よしゆき　とば　めぐみ
とりうみ敏行　金子　あきよ
松村　としお　たけこし　連
久保　　みき

９月議会･決算（まちづくり）

市民会館うらわの移転
総事業費が 603 億円に膨らむ

◀

10 月 4 日、決算委員会（まちづくり委員会関連）において、とりうみ敏行市議が質問しました。

浦和駅西口南高砂地区再開発は再開発組合が施工する事業ですが、「市民会館うらわ」の建て替えにあたって市は現在地ではなく駅前再開発ビルの中にいれる計画です。駅前再開発ビルにおいて「市民会館うらわ」の床を取得することから、総事業費が大きく膨らんでいることが明らかになりました。

とりうみ　これまで総事業費は、国、市の補助金 175 億円、保留床処分で 276 億円、総額 451 億円と聞いているが、変更はあるか。

市　今年 3 月に事業計画変更があり、補助金 246 億円、保留床 236 億円、「市民会館うらわ」の取得に 121 億円、総額 603 億円となっている。

とりうみ　これまで保留床処分金に含まれていた「市民会館うらわ」の取得額 121 億円が別建てになり、床単価は 1 ㎡あたり約 167 万円となっているが、商業床を買い取る（株）大和ハウスの床単価はいくらか。

市　（株）大和ハウスが取得する床の広さは 6756 ㎡、約 45 億円で、床単価は 1 ㎡ 66 万円になっている。

とりうみ市議は、「『市民会館うらわ』が 166 万円で、商業床が 66 万円では、あまりにも床単価に差がありすぎて妥当な価格とは言えない」と厳しく指摘しました。「市民会館うらわ」の建て替えは、現地でおこなえば 70 億円ですみます。駅前再開発ビルへ入れるのはまさに税金の無駄使いであり、直ちに見直すべき、と求めました。

とりうみ市議は、ほかに桜木駐車場用地問題、コミバス・乗り合いタクシー問題などを取り上げました。

９月議会･決算（企業会計・上下水道）

コロナ対策としての水道料金の引き下げを

10 月 5 日、決算委員会（企業会計）において、たけこし連市議が上下水道事業について質問しました。本市の水道事業会計は、財政指標（累積資金剰余金、企業債残高、総収支比率、自己資本比率）が中期経営計画の目標値をいずれも上回り、特に累積資金剰余金（いわゆる内部留保金）の実績が、計画値の 8 倍以上の 85 億円にものぼることが明らかになりました。

また、これまで毎年 110 億円程度発生する収支不足額についても、その補填財源となっている損益勘定留保金が毎年 80 億円程度発生しており（収支不足額はおもに補填財源と累積資金剰余金で補填している）、きわめて健全財政であることが確認できました。

たけこし市議は、コロナ対策として県内水道事業者がおこなった減免措置の内容（水道料金 100% 減免が 34 事業者で平均 3.6 カ月間、50% 減免が 7 事業者で平均 6.2 カ月間）を紹介し、「昨年度、埼玉県内の水道事業者 56 事業者のうち 75% にあたる 42 事業者で新型コロナウイルスを踏まえた料金の減免措置をおこなった。これだけの健全財政である本市でも実施できたのではないか」と追及しました。

しかし市は、「平時より、ひとり親や生活保護世帯等への減免措置を実施しているため、水道料金の減免措置をおこなわなかった」と説明。たけこし市議は「本市で 1 カ月間の水道料金を無料にした場合にかかる費用は 7.5 億円。本市の財政状況であれば十分に減免措置を実施できた。本年度に減免措置をおこなってもなんの矛盾もない」として、コロナ対策としての水道料金の引き下げを求めました。

今号は 10 月 24 日と 31 日の合併号です

９月議会･決算（出資法人）

岩槻都市振興（株）事業継続は可能か

10 月 6 日、決算委員会（出資法人）において、神田よしゆき市議が岩槻都市振興（株）の経営状況について質問しました。

岩槻都市振興（株）は、岩槻駅の再開発ビル「ワッツビル」を経営する会社です。2010 年にはメインのテナントの撤退で経営危機に陥りました。そのため再生計画をつくり、さいたま市から 5 億円を借り入れ、「ワッツビル」に岩槻区役所を移転するなどの支援をおこないました。

神田市議は、2020 年のテナントの撤退とその影響、再生計画の目標と 2020 年の到達について質しました。市は「テナントの撤退によって 200 万円の収入減で 2020 年度のテナントの空区画は 9 区画、そのうち 1 区画が解消できた。再生計画の目標は純利益で 2000 万円、実績は 4400 万円となり、プラス 2400 万円である」と回答しました。

経営状況は、再生計画を上回っているものの、借入金の返済などを考えると厳しい経営状況にあることが明らかになりました。

９月議会･決算（企業会計・市立病院事業）

公的病院を守れ

10 月 5 日、決算特別委員会（企業会計・市立病院）において、とりうみ敏行市議が質疑を行いました。とりうみ市議は、コロナ禍での市立病院のとりくみついて質したあと、公的病院の削減をめざす国の「地域医療構想」について市の認識を質しました。

とりうみ　全国自治体病院開設者協議会など３団体が「コロナ対応の中心を自治体病院が担っていることから、国が求める効率性、合理性だけでは地域医療は守れない」として、国に慎重な取り扱いを要望しているが、市立病院のとりくみはどうか。

病院　コロナ対応で公立・公的病院の役割の存在、重要性が再認識されたことから、地域の個別事情、医療現場の声を踏まえて協議会のなかで地域医療構想の課題を共有し、協議会の一員として国に対して要望をおこなった。

とりうみ市議は、「市内には削減の対象となっている公的病院があるが、コロナでの医療逼迫の経験をふまえて国に構想の見直しを強く求め、公的病院を守るべき」と求めました。

文化振興事業団 下請労働者の権利を守る 責任明確に

つづいて、同委員会において金子あきよ市議が文化振興事業団の経営状況報告について質疑しました。

金子市議は昨年 9 月議会の一般質問で、さいたま市文化センターの再委託先業者に社会保険の不加入などの不正常な実態があることを指摘し、その是正を求めた経過がありま

す。昨年 12 月時点でこの実態は改善され、必要な労働者はすべて社会保険に加入したという報告を受けていました。

しかし、今回の経営状況説明書のなかでは、改善部分が確認できず「委託金のなかに労働者の社会保険事業者負担分が含まれているかどうかは各事業者内の労使関係なので市では分からない」という説明でした。金子市議は「それが不正を見過ごす結果になったという認識はあるか」と質しましたが、「業務委託仕様書に基づいた業務をしっかりと完了したというなかで支払い等もおこなっている」と、業者の不正を不問に付すかのような答弁でした。金子市議は 4 月から 11 月の未払い分は 600 万円以上になるとの労組の試算も紹介し、遡って契約の不履行にあたらないかの調査が必要だと指摘しました。

あなたの身近な議員です

市議(北区)
神田よしゆき

市議(浦和区)
とりうみ敏行

市議(緑区)
松村としお

市議(桜区)
久保　みき

市議(見沼区)
とばめぐみ

市議(南区)
金子あきよ

市議(中央区)
たけこし連